

序 論

§ 1 総合計画の策定に当たって

- 総合計画策定の目的
時代の大きな変革期に対応し、多様な協働のもと、新たな時代のまちづくりへ対応していくための指針として策定
- 総合計画の役割
 - ①市民と行政が未来を共有し、協働で取り組む計画
 - ②将来にわたり自立可能な、成長する都市を目指すための計画
 - ③行政の経営指針として活用できる計画
- 計画の構成と期間
総合計画は以下の3つの計画で構成
 - ①平成34年を目標年次とし、本市の目指すまちづくりの姿（ビジョン）を示す「基本構想」
 - ②平成34年を目標年次とし、基本構想を実現するための施策と推進方策を示す「基本計画」
 - ③総合計画の進捗管理を目的とする「実施計画」
- 策定体制と策定の流れ

§ 2 計画の前提事項

- 社会潮流
 - ①成熟型社会の到来と経済環境の変化
 - ②安心安全・環境に対する意識の高まり
 - ③地方分権・地域主権の状況
 - ④人々の価値観・ライフスタイルの変化
- 国・中部圏・愛知県の動向
- 広域の動向

§ 3 田原市の現況

- 田原市のまちづくりの経緯
- 田原市の現況
- 市民の意識

§ 4 田原市の課題

- 田原市のSWOT分析
- 田原市の課題
 - ①社会潮流に対応し持続性の高い地域づくり
 - ②多様な主体との連携と市民サービスレベルの向上
 - ③地域資源を効果的に活用し選ばれるまちづくり
 - ④市民のチャレンジ意欲を高める環境づくり
 - ⑤誰もが安心・安全に生活できる地域づくり
 - ⑥効率的で透明性の高い都市経営の実現

基本構想

§ 1 基本構想の概要

- 基本構想の目的
「本市の目指す都市の姿（ビジョン）」と、その実現のための「施策の大綱」を示す。
- 目標年次
平成25年度～平成34年度（10年間）
※基本計画と目標年次を合わせる

§ 2 目指す都市の姿

- 将来都市像
将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」
サブテーマ「おもいやり 支えあう 幸福実感都市」
- まちづくりの方針
 - ①「市民の幸福感」を根幹に据えたまちづくり
幸福度を顧客満足度と位置づけ、継続的に向上に取り組む
 - ②多様な主体との連携により成長し続けるまちづくり
多様な主体との連携と、地域資源の効果的活用を図り、「人口」「経済」など本市の成長に取り組む
 - ③参加と協働による持続可能なまちづくり
市民参加・協働により「都市としての自立」を図り、「豊かさ」「暮らしやすさ」を次の世代へと引き継いでいく
- 土地利用の方針
将来都市像を具現化するために、都市基盤整備と土地利用の方向性を示す
 - ①踏まえるべき視点

◆地域の個性と連携	◆災害への備えと対応
◆効率と活力の創出	◆広域的展望と役割
◆半島特性の利用と克服	
 - ②都市基盤の整備計画
「幹線道路等の充実」「港湾の振興」「水環境の整備」
 - ③土地利用計画
「特徴的なゾーン」及び市街地・交流・防災の視点から「拠点」を位置付け、これらの方向性を示す。

§ 3 施策の大綱

- 将来都市像実現を目指すための施策の枠組みと分野別施策を示す。
- | | |
|---------------------|--------|
| ◆みんなでつくる美しく暮らしやすいまち | (市民環境) |
| ◆笑顔とやさしさの満ちあふれるまち | (健康福祉) |
| ◆暮らしを支え、未来を創造するまち | (産業経済) |
| ◆地域特性を活かした便利で快適なまち | (都市整備) |
| ◆個性と才能を育む人づくりのまち | (教育文化) |
| ◆ともに築く安全なまち | (消防防災) |
| ◆協働と連携による健全経営のまち | (行財政) |

基本計画

§ 1 基本計画の内容

- 目的と期間
基本構想で目指す「将来都市像」実現のため、平成25年度から10年間で行う施策と推進体制を示す。
- 構成項目
「都市経営指針」「重点プロジェクト」「分野別計画」「推進体制」により構成する。

§ 2 都市経営指針

基本計画推進上配慮すべき指針を示す

- 長期財政計画
計画期間中の財政見込みを示す
- 都市基本指標
基本計画の実現により達成すべき都市基本指標を示す。
 - ①市民幸福度指標（各分野別に位置付け）
 - ②人口関連指標（定住人口、交流人口、活動人口）
 - ③経済関連指標（市民総生産・市民総所得）
 - ④財政健全度指標（基金、公債費、経常収支比率、財政力指数、バランスシート）
- 行政改革
行政改革の方針と取組を示す
- 行政評価
PDCAマネジメントサイクルの効率的な運用と行政の透明性の向上のための行政評価の方針を示す。

§ 3 重点プロジェクト

- 計画期間中に分野を横断し、重点的に検討・推進すべきプロジェクトを位置づけ
- ◆人が人を支える協働の体制づくりプロジェクト
校区コミュニティ協議会による地域づくり支援や市民協働体制の整備など
 - ◆地域の安心安全向上プロジェクト
地域防災・防犯力・交通安全の向上や医療体制の充実等による安心安全な地域づくり
 - ◆ふるさと人材育成プロジェクト
ふるさとに対する「誇りと愛着」を持ちながら、国際的な視野を有する人材の育成と環境整備
 - ◆地域ブランド化・シティセールスプロジェクト
地域資源の発掘・磨き上げと効率的・効果的な情報発信

- ◆快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト
商業・サービス業の振興、都市機能の集約化、交通体系の充実等による賑わいある市街地の形成
- ◆エコガーデンシティ推進プロジェクト
菜の花エコ、再生可能エネルギー導入、資源循環、省エネルギーの推進など環境負荷の低減に向けたまちづくり
- ◆効率的な行政基盤構築プロジェクト
効率的な行財政運営を進めるため、人材・資産・税等の運用を最適化

§ 4 分野別計画

- 施策の体系
- 分野別計画
 - ◆分野総括
各分野において特に主要な取組となる「主要プラン」、田原市が目指す市民協働のモデルとなる「市民協働モデル事業」を示す。
 - ◆分野別施策
「施策の目指す姿」「現状・課題」「施策の成果指標」「主な取組」「市民一人ひとりの活動」「協働のモデル」で構成し、各施策の方向性を示す。

§ 5 推進体制

- 計画推進の方策
マーケティング手法の導入など戦略的な都市経営を推進
- 推進体制
 - ①市民参画の仕組みづくり
計画立案段階からの市民参画、女性の登用
 - ②重点プロジェクト推進のための体制整備
重点プロジェクト推進のため、トップ直轄による庁内横断型プロジェクト体制を構築
 - ③職員育成体制の充実
「職員資質向上に資する研修制度の構築」「人事考課制度の効果的運用」
- 計画の進行管理
 - ①PDCAマネジメントサイクルによる事業推進
 - ②事業の「選択と集中」による予算運用
 - ③行政の透明性の向上